

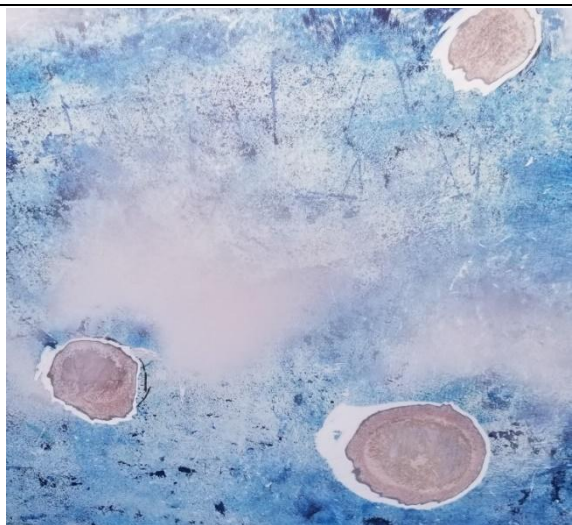
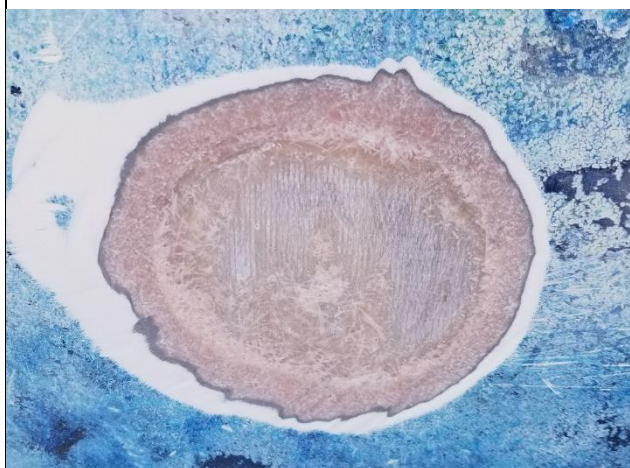
オズモシスを補修する(2020年4月)

ヨット整備勉強会

オズモシスとは船齢が古くなったFRP製の船体を持つ、ヨットやボートに、時折見受けられる症状です。水面下の船底部に、船体を構成するFRP層の上、ゲルコート層の部分に水泡状のふくらみが出てきます。最初は直径数ミリの小さい状態ですが、時間が経つに従って大きくなります。

オズモシスかどうか見分けるポイントは、その水泡をつぶしてみることにあります。

ゲルコートの水泡をつぶすと、酢のようなすっぱい臭いがし、その下のFRP層が凹んだように侵食されているので、すぐに見分けることができます。



このオズモは初期の(10年前)の小さい症状の時の補修が不備だったので重症化して大きくなってしまった事例です！

大きい物では直径10cm、手で押すとブヨブヨで、穴を開けると臭い水液が飛び出してきた！オズモにマークをして……

チェックしたマーク部分を思い切りよく、十分に削ります。ディスクサンダーにペーパーディスクを使いオズモの部分を潰しながら残さずサンディングする。

高圧洗浄で水洗いして良く乾燥する。



エポキシ樹脂は国産の良いものがある。

上はこのエポキシで埋めました！

最初は緩めの溶剤でFRPにしみ込ませ、徐々に硬めにして、重ねて行きます！



エアサンダーで成形した後、プライマー塗装してから船底塗料を2回塗りして仕上がります！
左写真はプライマー塗装・・・



今津のコーナンプロにはFRPなどの補修用具の棚があり、便利になった！
時間をかけて船底の整備をするのに、ありがたいですね！